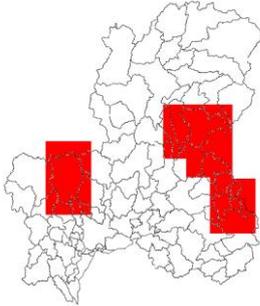


アオホオズキ	<i>Physaliastrum japonicum</i> (Franch. et Sav.) Honda	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		ナス科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。	写真(大塚英樹) 
形態の特徴	茎は高さ50-70cmで、疎らに分枝する多年草。葉は卵形～広卵形で、先は急に狭まって短く尖る。花期は6-8月、黄白色・広鐘形で径約1.5cmの花を、葉腋に1-4個下垂してつける。液果は淡緑色・楕円形で長さ1-1.3cm。	
生態的特徴	山中の谷沿いのやや湿り気のある林中に生える。	
分布状況	日本固有の種。本州と四国に分布する。県内では県北の南東部及び県南の西部と東部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県北・県南の狭い地域に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良